

in E♭

There will never be another you

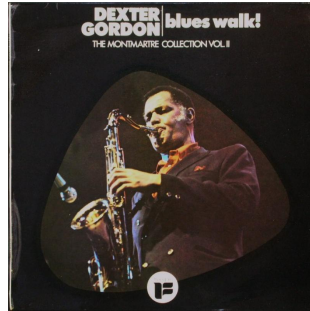
村井千紘の脱・ひよこクラブリターンズ!

このCDを聴け!

「Blues Walk」 Dexter Gordon (左)
Dexter Gordon (ts), Kenny Drew (pf),
Niels-Henning Ørsted Pedersen (ba), Albert Heath (ds)

「Sonny Stitt Plays」 (右)
Sonny Stitt (as)/Hank Jones (pf) Freddie Green (gt) 他

デクスターの無骨で野太くて、いい意味で飾り気のない
テナー。そしてスティットの装飾音やビブラートが
効いたアルトラしい煌びやかな演奏。それぞれアルトとテナーの美味しいところを生かした演奏だ。

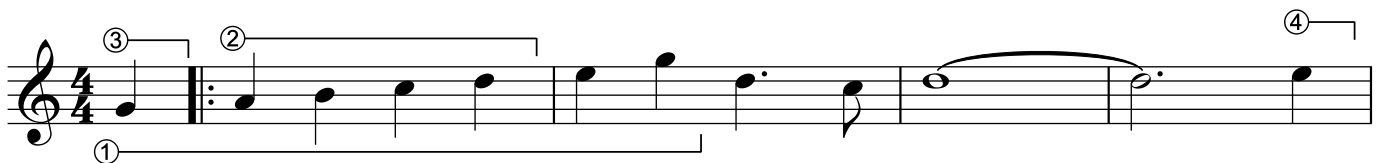


テーマについて

リードシートを見ると4分音符ばかり...
一見簡単そうに見えますが、こんな曲こそメロディフェイクの腕が問われます!

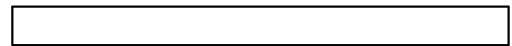
★その1：テヌートとテヌートスタッカートを使い分けよう!

(リードシート1段目)



*まずは①の4分音符7つを
練習その1：全てスラーで吹いてみましょう

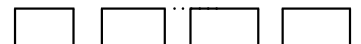
(音の形のイメージ)



練習その2：全てテヌートで吹いてみましょう



練習その3：全てテヌートスタッカートで吹いてみましょう



*息の量や音量が変わらずまっすぐ吹けるよう、一定の息・音圧をキープしましょう

*今度は②の4分音符4つを

テヌート (以下テヌ) かテヌートスタッカート (以下スタ) でランダムに吹いて

当日お隣の席になったパートナーに無事聞き分けてもらえるよう吹き分けましょう!

練習例) テヌ/スタ/スタ/スタ、スタ/スタ/テヌ/スタ、テヌ/テヌ/スタ/スタ、etc.

★その2：フレーズの出だし1音目をリズムフェイクしよう!

上記楽譜の③や④のような、フレーズの出だしとなる4分音符を以下のリズムで吹きましょう



「A!」と言われたらAのリズムでとっさに吹けるよう、練習してみましょう

2 ★その3：エンディングはいつでもどこでも吹けるように！

8 C⁶ F7(#11) Em⁷ A⁷ C#⁶ F#7(#11) E#m⁷ A#⁷

↑ ここは練習しないといつまで経っても吹けないゾ！

12 C⁶ F7(#11) Em⁷ A⁷ Dm⁷ G⁷ C⁶

rit.

ソロについて

Sonny Stittのアドリブはジャズフレーズの宝庫です。コピーすべし！

①~⑤のうち、1つは必ず吹けるように練習してみましょう。

(0:55 ソロピックアップから)

17 CΔ⁷

① メジャーブルーススケール (1, 2, ♭3, 3, 5, 6) =ペンタトニック(4, 7抜き)+♭3

② 半音階で駆け上がり、メジャースケールで下りてくる緩急

20 Bm⁷ E⁷ Am⁷

③ ↓※m7でやっている 省略可 この辺からE7っぽい 7 11 9 7 ♭9 ♭13 3 2 R

④ ↓Dのコードトーンでもある

23 D⁷ Gm⁷ C⁷ FΔ⁷

④ 次小節Gm7の3rd ↓ Gm⁷ 7 9 5 7 ↑ Amでもある

⑤ Gドリアンからの、半音上がり・3度の下りコンボ！そしてコードトーンで美しくフィニッシュ。

27 B♭7(#11) CΔ⁷ Am⁷

⑤ 9 7 6 5 4 3 R

Fmのテトラコードでもある。3度と2度の滑らかな動き